

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	給食実施日数	日	目標	197.00	194.00	199.00
			実績	197.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	義務的な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が実施すべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の方法が一般的であると思われる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	維持管理していく上で修繕によるコスト増がみられる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	水準に達している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	順調に学校給食は提供されている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
安心で安全な学校給食の安定した提供を図るため、調理委託、運搬委託、施設設備の定期点検、衛生管理等の必要な措置を講じていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
経年劣化により、機械、設備、器具の修繕、食器、食缶などの更新を計画的に実施していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 児童生徒の健全な育成に欠かせない事業であり、安心で安全な学校給食の提供を図るため、施設設備の修繕及び更新計画を策定し、衛生管理に努めていく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。